

平成 19 年 11 月 5 日

## 1 号機原子炉建屋内における水漏れについて

東京電力株式会社  
福島第二原子力発電所

定期検査中の 1 号機において、平成 19 年 11 月 3 日、残留熱除去系<sup>\*1</sup> (A) の点検のために、当該系統配管内の水抜き作業を行っていたところ、午後 2 時 5 分頃、当社社員が原子炉建屋地下 2 階にある当該ポンプ (A) 室 (堰内) のファンネル<sup>\*2</sup> 近傍の床に水が溜まっていることを確認しました。

漏えいは確認した時点ですでに止まっており、漏れた水の量は、約 2 リットル、放射エネルギーは約  $9.3 \times 10^2$  ベクレルであることがわかりました。

なお、漏れた水は、当該ポンプ (A) 室 (堰内) にとどまっていたため、拭き取りにより回収および清掃を実施しました。

水が漏えいした原因は、本来、閉まっているべき当該系統配管の水抜き用の弁が開いていたため、水抜きを行った際、水抜き用配管に多くの水が流れたことにより、一時的に当該ファンネルの蓋から水が漏れ出したものと推定しておりますが、今後、原因について詳細に調査します。

これによる外部への放射能の影響はありません。

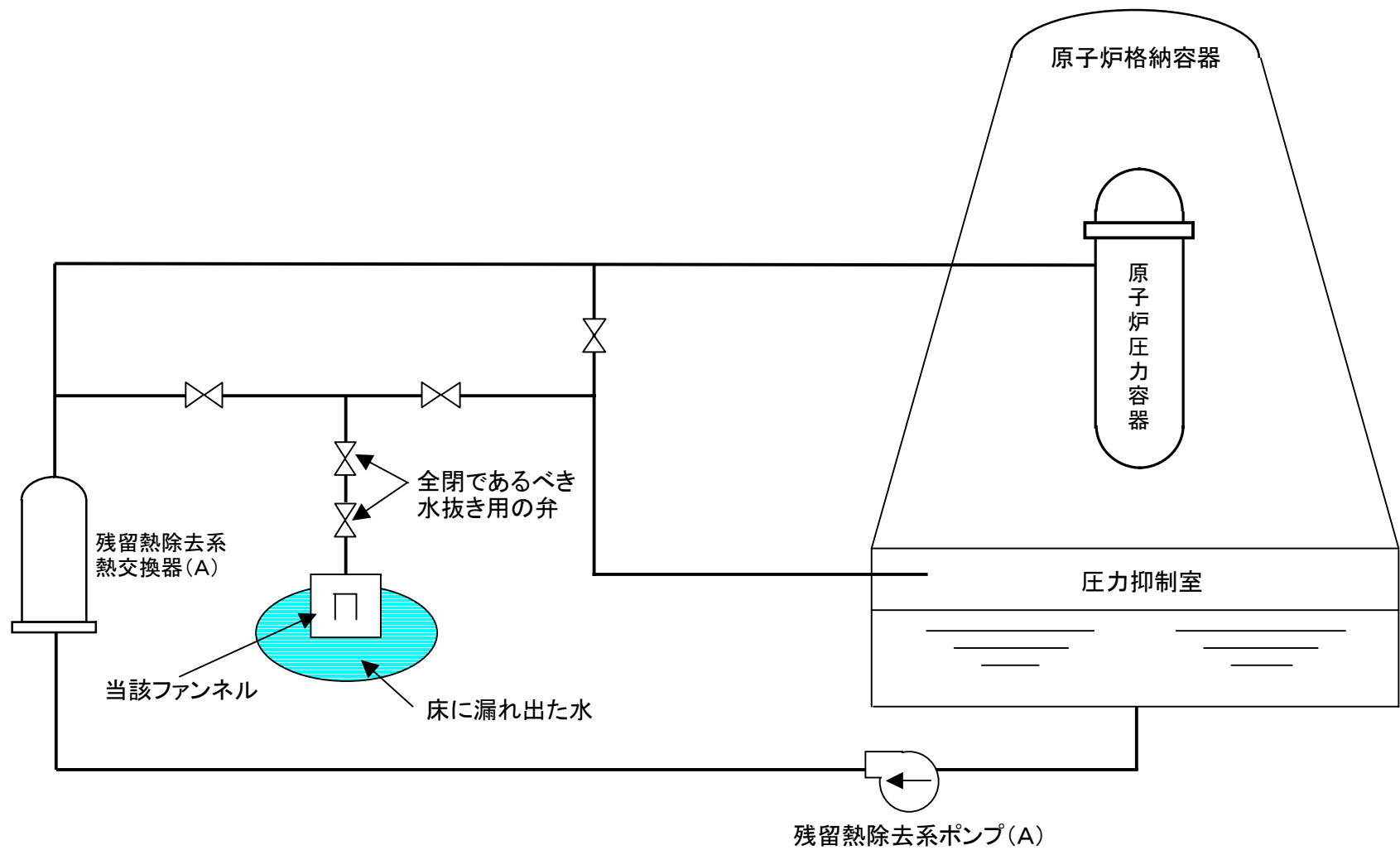
以 上

### \* 1 : 残留熱除去系

原子炉を停止した後の冷却 (燃料の崩壊熱の除去) 機能とともに、非常時に原子炉水位を維持する低圧注水系、原子炉格納容器内の冷却を行う格納容器スプレイ系等の機能を持つ。(A系、B系の2系統ある)

### \* 2 : ファンネル

各建屋の配管や機器からの排水を受けるタンクに導く際に中間で水を受ける、いわゆる中間枡のようなもの。



残留熱除去系 系統概略図